

平成 31 年度卒業論文

画像付きフェイクニュースとジョークニュースの
検出・分類に向けた機械学習モデルの検討

電気通信大学 情報理工学部 総合情報学科
メディア情報学コース

学籍番号 : 1510151

氏名 : 柳 裕太

主任指導教員 : 田原 康之 准教授

指導教員 : 大須賀 昭彦 教授

指導教員 : 清 雄一 准教授

提出年月日 : 平成 31 年 2 月 8 日 (金)

概要

SNS の発展によりあらゆる情報入手が容易になった反面、人を欺くために故意に作成された虚偽の情報であるフェイクニュースが社会問題になっている。特に画像と併せて発信されたものは、テキストのみならず画像と併せた分析アプローチが有効である。虚偽の情報としては、もう 1 つジョークニュースというものもある。これは人を欺くためではなく、社会風刺や皮肉のために作られた情報という特徴がある。しばしばこの 2 カテゴリーが混同され、ジョークニュースが批判に晒されることがあることも問題となっている。

既にテキスト・画像をニューラルネットワークの一種である CNN によって分析して真偽を判定する自動判別モデルが提案されている。実際に真実・フェイクとのカテゴリ分類において優秀な成績を収めているものの、ジョークとしての嘘情報と人を欺くための嘘情報が区別されていない。

本研究では、正しい情報・ジョークニュース・フェイクニュースの 3 カテゴリーを分類することで、より画像つきフェイクニュースの検出精度を向上させることを目指した。

実際に SNS から収集した画像つきのデータセットを対象にカテゴリ分類を行った結果、3 カテゴリーでも全体の精度が 0.94 と良好な結果を示した。

目次

概要	i
第 1 章 序論	1
1.1 背景	1
1.2 先行研究	1
1.3 課題	1
第 2 章 提案手法	2
2.1 モデル概観	2
2.2 特徴生成器	2
2.3 フェイクニュース判定器	2
第 3 章 評価実験	3
3.1 データセット	3
3.2 比較対象手法	3
3.3 実験条件	3
3.4 実験結果	3
第 4 章 評価	4
4.1 考察	4
4.2 課題	4
第 5 章 おわりに	5
5.1 本論文のまとめ	5
5.2 今後の展望	5
謝辞	6
参考文献	7

第 1 章

序論

1.1 背景

1.2 先行研究

1.3 課題

第 2 章

提案手法

2.1 モデル概観

2.2 特徴生成器

2.3 フェイクニュース判定器

第 3 章

評価実験

3.1 データセット

3.2 比較対象手法

3.3 実験条件

3.4 実験結果

第 4 章

評価

4.1 考察

4.2 課題

第 5 章

おわりに

5.1 本論文のまとめ

5.2 今後の展望

謝辞

本研究を行うにあたり，ご多忙の中，終始適切かつ丁寧なご指導を下さった大須賀昭彦教授，田原康之准教授，清雄一准教授に深く感謝致します．貴重な勉学の機会を与えてくださったことに深く御礼申し上げます．

参考文献

- [1] Wang, Yaqing, et al. “EANN: Event Adversarial Neural Networks for Multi-Modal Fake News Detection.” Proceedings of the 24th ACM SIGKDD International Conference on Knowledge Discovery & Data Mining. ACM, 2018.